

GMP-GRADE RECOMBINANT DLL4

Designed for Large-scale iPSC Manufacturing

Newly
Launched

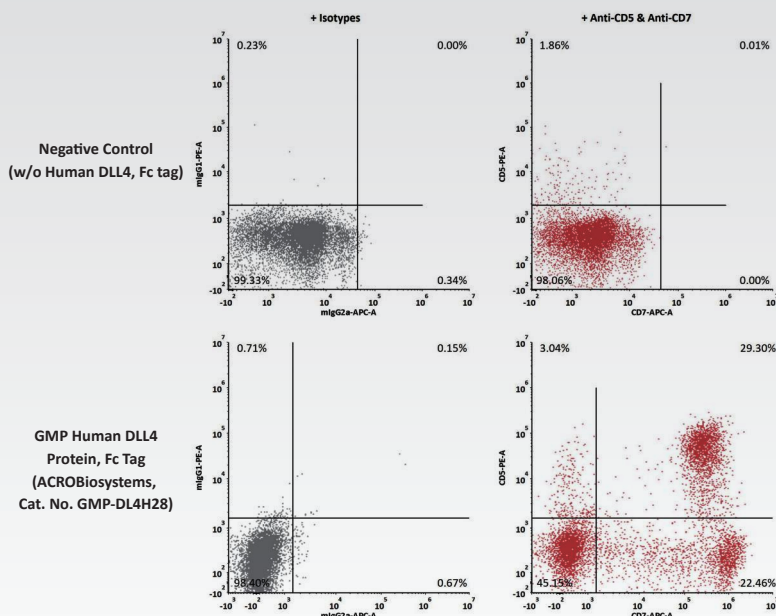
DLL4タンパク質を用いてフィーダー細胞フリーの培養法は、臨床iPSCの大規模生産の主流となっています。たとえば、プレートを使用してNotchリガンドDLL4と一部の接着分子(VCAM-1など)を組み合わせることによって、培養効率が上がります。iPSCの大規模浮遊培養をより良くサポートするために、DLL4マイクロビーズに基づくフィーダー細胞フリーのin vitroシステムを開発しました。新たに発売されたGMP GradeのDLL4タンパク質(製品番号: GMP-DL4H28)は、高い活性と安全性を有し、フィーダー細胞を使用しない培養プロトコル下でiPSC-T細胞の誘導および分化のプロセスに使用することができます。iPSCの大規模臨床生産をより良くサポートすることができます。接着分子GMP GradeのVCAM-1タンパク質(製品番号GMP-VC1H25)と適合するDLL4マイクロビーズActiveMax[®] Human DLL4 μBeads, premium grade (細胞用)(製品番号: MBS-C013)もオンラインで同時に提供しております!

QR Codeをスキャンして、
新しいGMP DLL4製品を
探索してください!



Explore Now

CD34+ HSPCから誘導されたCD7+CD5+ T前駆細胞/ Tプロジェニター細胞は、
GMP human DLL4, Fc tag (Cat. No. GMP-DL4H28)
フィーダーフリーのコートティングプレートにて26日間分化しました。

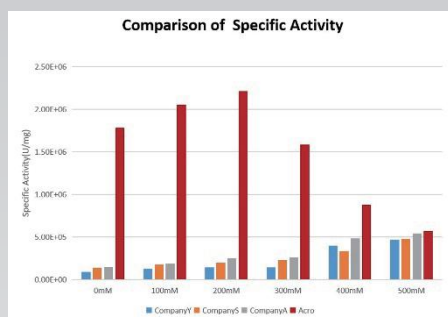


CD34+ CD45+造血細胞はGMPヒトDLL4タンパク質、Fcタグ(製品番号GMP-DL4H28) - コートティングプレート上に播種され、26日間分化させた後、フローサイトメトリーを用いてT前駆細胞マーカー、CD7およびCD5の発現を検出しました。GMPヒトDLL4プロテイン、Fcタグ(製品番号GMP-DL4H28)と他の成長因子を組み合わせることで、CD7+およびCD7+CD5+ T前駆細胞の形成を誘導できました。しかし、GMPヒトDLL4タンパク質、Fcタグ(製品番号GMP-DL4H28) - コートティングプレート無しで培養された細胞は、CD5もCD7も発現しませんでした。

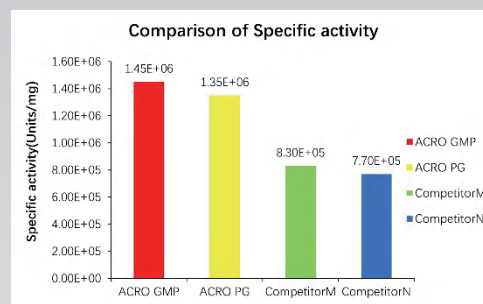
フォーカス製品 GMP GRADEヌクレアーゼ

■ GMP GradeのGENIUS™Nuclease全分解型ヌクレアーゼ (製品番号: GMP-NUES19)

ACROBiosystems 自社で開発した GMP Gradeの GENIUS™ Nuclease全分解型ヌクレアーゼ (製品番号: GMP-NUES19) には、動物由来成分、IPTG、標識、プロテアーゼ活性、天然由来の酵素由来のウイルスなどの汚染物質を含まず、高い純度、活性、安全性を保証されます。また、Salt Active GENIUS™NucleaseのGMP Grade高耐塩製品 (製品番号: GMP-NUES13) も揃えており、塩度の高い条件下でも高い酵素活性を示すため、AAVウイルス生産などのバイオプロセスにおいて核酸コンタミネーションの除去に最適です。



GMP Salt Active GENIUS™Nuclease (Cat. No. GMP-NUES13)



GMP GENIUS™Nuclease (Cat. No. GMP-NUES19)

■ GMP Human 4-1BB Ligand Protein

T、NK、DC細胞の培養にも適しています。

Acro grade
Accelerating Global Regulatory Approval of Biological Products

Request a Sample

GMP Human 4-1BB Ligand Protein

サンプルのお申込みはこちら

